



2024～25 年度国際ロータリー・テーマ
RI 会長：ステファニー A.アーチック（米国）

鹿屋西ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT
NEWS
<https://kanoya24-rc.synapse.kagoshima.jp>
ROTARY 第 2131 回



2025 年 5 月 12 日

◆会務報告

1. 機関雑誌「ロータリーの友」購読申し込みについてのご案内
2. 国際ロータリー第 2730 地区ロータリー学友会 2024-25 年度 第 4 回定例会のお知らせ
日時:令和 7 年 6 月 28 日(土)18:30~19:30
場所:カクイックス交流センター
3. 国際ロータリー第 2730 地区 2024-25 年度 第 2 回クラブ活性化セミナー開催のご案内
日時:2025 年 6 月 8 日(日)10:30~15:30
場所:ホテル中山荘
4. ハイライトよねやま vol.302
5. クラブ事務局移転のお知らせ (きもつき RC)
移転日:R7.6.2 より (有)トラベルメイク内

◆5 月誕生者祝

野田敬一さん
池田志保子さん
中間いく代さん
一村彩子さん
清水雄基さん



◆5 月メモリアルデー祝



風呂井敬さん、志村正子さん、中原浩一さん
山下俊也さん、椎本康弘さん、清水雄基さん

◆出席表彰 (皆勤)

山崎隆夫さん (11 年)
中間いく代さん (14 年)
上谷田浩幸さん (14 年)



会長の時間

会長 鶴丸秀治さん
皆さん、こんにちは。
いつも第一例会では、ロータリーの特別月間にちなんだお話をさせていただいております。

今月 5 月は「青少年奉仕月間」です。
未来を担う若者たちに、私たちがどんな手を差し伸べられるか。それはロータリーの活動の中でも、とても大切な問いだと思います。
今回も何か、皆さんと一緒に考えられるきっかけになるような動画を探しました。
とはいえ、最近は「YouTube」の動画が著作権の関係で簡単に使えず、なかなか苦労いたしました。
そんな中で見つけたのが・・・講談師の玉田玉秀齋さんです。
実は今年の 1 月に「社会奉仕と職業奉仕」という動画を紹介させていただいたことがあります。
実は彼、高校時代にロータリーの青少年交換留学生としてスウェーデンに 1 年間留学していたそうです。その経験を語る動画があり、彼の言葉の一つ一つに、ロータリーの精神がにじんでいます。
実は私自身も、以前スウェーデンから「フレデリカ

次回プログラム	
5 月 25 日 (日)	
プログラム: ロータリー奉仕デー	
担当委員会: 青少年奉仕委員会	
場所: 高須海岸清掃	
出席報告	会員数 (38)40 名
出席数	32 名
出席率	84.21 %

メイクアップ情報			
鹿屋	05月21日	(水)ホテルこばやし	
かのや東	05月22日	(木)かのやランドホテル	
串良	05月19日	(月)セントラント道の駅	
志布志	05月20日	(火)大黒本店 理事会開催:例会なし	
きもつき	05月22日	(木)高山温泉トーム 第4週:例会なし	
南九州大崎	05月22日	(木)焼肉しろやま 家族例会:会場変更	
志布志みなと	05月21日	(水)大黒本店	

鹿屋西ロータリークラブ

会長: 鶴丸 秀治
副会長: 王谷 英仁
幹事: 假屋 博行

例会日 月曜日 12:30~13:30
例会場 ホテルさつき苑 TEL:40-1212
事務局 〒893-0064 鹿屋市西原1丁目9-10
ホテルさつき苑内 TEL:44-5811 FAX:41-1959
E-mail kanoya24@po5.synapse.ne.jp



さん」という女子高校生をホームステイで受け入れたことがあり、共感を覚える場面も多くありました。今回は時間の都合でそのお話は割愛させていただきますが、ぜひ皆さんにも、この動画を通して「青少年奉仕」の意味を改めて感じていただければと思います。

それでは、ご覧ください。



3分間スピーチ

山下俊也さん

都城市と志布志市を結ぶ「都城志布志道路」が2025年3月23日に全線開通しました。その前後にロータリーの用で都城に行く機会がありました。その時にいろいろ考えることがあり調べてみました。まずは経済の波及効果についてです。



経済波及効果

- **物流効率化と輸送コスト削減**：都城ICから志布志港間の所要時間が約30分短縮され、農畜産物の輸送効率が向上。
- **企業進出と雇用創出**：志布志港周辺の臨海工業団地では、農畜産品加工工場や飼料製造工場、倉庫、ホテルなどの施設が進出。これにより、**設備投資額約258億円、新規雇用約370人**が創出されています。

防災・医療面での効果

- **防災機能の強化**：南海トラフ巨大地震などの災害時に、都城市が後方支援都市（バックアップシティ）として機能し、太平洋沿岸地域への支援が迅速化されます。
- **医療搬送時間の短縮**：都城志布志道路の整備により、**曾於医師会立病院や都城医師会病院への搬送時間が短縮**され、救命率の向上が期待されています。

全線開通により、都城市、志布志市、曾於市を中心とした南九州圏域の経済、物流、防災、医療の各分野で相乗効果が生まれ、地域全体の発展が期待されています

都城志布志道路の開通によって、鹿屋市が受ける可能性のある「悪い影響（マイナス面）」について考えられる点を以下に挙げます：

1. 交通の通過地域化（素通りの可能性）

- 鹿屋市を経由しなくても、都城市と志布志市間の移動が高速道路で直接可能になったことで、**鹿屋市が物流や人流の通過地域から外れる**可能性があります。

例えば西原商会は2024年6月3日より、鹿児島県

曾於市に新設の営業拠点である大隅支店の営業を開始しました。大隅支店は、都城・鹿屋・国分の3つの営業所を合併した営業所になります。

2. 商業の地盤沈下リスク

- 周辺都市（特に都城市）とのアクセスが良くなったことで、**買い物やレジャー目的で鹿屋市外に出る人が増える**可能性があります。

3. 企業立地・投資の相対的な魅力低下

- 都城市や志布志市が高速道路直結により企業誘致を加速させる中で、**高速道路から外れた鹿屋市は企業立地の面で不利になる**恐れがあります。
特に製造業・物流業では高速道路へのアクセスの良さが重視されます。

4. 道路整備計画への影響

- 志布志や都城方面の整備が進んだことで、鹿屋市を通る**他の幹線道路（国道220号など）の整備優先度が下がる**可能性もあります。これは将来的な交通インフラ投資の遅れにつながる懸念があります。

こうした影響はすぐに顕在化するものではありませんが、中長期的に鹿屋市が「取り残される」リスクを抱えることになるため、独自の地域戦略や他都市との連携が重要になります。

都城志布志道路の全線開通による鹿屋市への「悪影響」と、それに対する**対策・代替交通整備の方策**を以下に整理します。

■ 鹿屋市への悪影響（詳細）

1. 物流・人流の減少（通過地域からの脱落）

- 志布志港と都城・宮崎方面が高速道路で直結されたことで、**鹿屋市を経由するトラック・バス・観光車両が減少**。
- 地元商業施設、道の駅、飲食業などが利用者減で影響を受ける懸念。

2. 企業立地の相対的な魅力低下

- 志布志・都城が高速道路の恩恵を受けて**企業誘致が活発化**。鹿屋市は交通インフラで後れを取ることで、**製造・物流系企業にとって選ばれにくくなる**。

3. 買い物・医療・レジャーの流出（ストロー現象）

- 高速道路の利便性によって、**市民が都城・宮崎方面へ流出**し、鹿屋市内の経済循環が縮小する恐れ。

■ AIによる鹿屋市の対策・代替交通整備案

1. 【代替整備案】東九州自動車道（鹿屋串良～志布志）の早期整備促進

- 鹿屋市は国・県に対し、**鹿屋串良JCT～志布志ICの延伸を早期に進めるよう要望**する必要がある

あります。

- ・志布志で都城志布志道路と接続することで、鹿屋市も高速ネットワークに組み込まれ、交通利便性が改善。

2. 【広域交通連携】「南九州縦断交通軸」構想の推進

- ・例えば「鹿屋－都城直通バス（高速道路利用）」
「志布志－鹿屋港－垂水－鹿児島市」のマルチモーダル連携（港湾＋バス＋道路）強化。
- ・志布志港や垂水フェリーとの連携を深め、**鹿屋市を拠点にした“交通ハブ”戦略**を再構築。

3. 【経済振興策】地場産品・観光資源の高付加価値化

- ・鹿屋航空基地資料館、かのやばら園、農畜産品などの観光資源・物産を活かし、「目的地としての鹿屋」のブランド強化。
- ・特に都城・志布志からの**周遊観光ルート化**（モデルコース設定・SNS発信）が有効。

4. 【デジタル×地域経済】リモート立地支援やスタートアップ誘致

- ・高速道路に依存しない産業（IT、観光、教育など）に注目し、**リモートワーク・サテライトオフィス誘致**の推進。
- ・空き施設のリノベーションやテレワーク対応インフラ整備が鍵。

まとめ

鹿屋市は「交通の取り残されリスク」を感じている地域の一つですが、

高速道路が通らないなら“通らない強み”をどう活かすかが今後のカギです。

- ・「志布志で止まる物流を鹿屋で分散処理」する倉庫機能
- ・「目的地観光」や「多交通拠点の再編」
- ・「デジタル社会に適応した立地戦略」

など、発想の転換と戦略的な交通施策が求められます。



卓話



会長エレクト 久木田 弘さん
皆さん、こんにちは。

会長エレクトとしての出番はまだ先だと思っていたのですが、気がつけばすぐそこまで来てい

て、非常にプレッシャーを感じています。

ただ、この鹿屋西ロータリークラブの会長という大役を仰せつかることになり、身が引き締まる思いと同時に、皆さんと一緒に活動できることに不安もありますが、成るからには一生懸命やりたいと思います。

今日は、2025-2026年度の会長としての基本方針についてお話しします。

去る、3月8日・9日に延岡で開催された PETS（会長エレクト研修セミナー）に参加してまいりましたので、その中で学んだことを要点に絞ってお伝えしたいと思います。

そして、今週18日（日）には、次年度の役員・理事・委員長・小委員長の皆さんを対象に、延岡で地区研修協議会が開催されます。この会では、地区から各クラブの委員会への協力要請もありますので、役をお引き受けいただいた方は、ぜひしっかりと研修を受けて頂きたいと思います。

また、本日の例会終了後には、次年度の小委員長以上を対象とした被選クラブ協議会を開き、各委員会への依頼事項などをご説明いたしますので、必ず出席をお願いします。

さて、My Rotary の中に今年2月に行われました国際協議会で、次年度の RI 会長に就任するマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏のスピーチがあります。その中でカマルゴ氏は**会員増強こそがロータリーにとって最も重要で、最大の課題である**と明言されました。ロータリーの未来を確かなものにするには、クラブ全体が一丸となって会員増強に取り組まなければならない、という強いメッセージでした。

また、ポリオ根絶活動においても、ビル・ゲイツ財団、WHO、ユニセフなどの世界的なパートナーと連携しながら、ロータリーが果たしてきた役割の大きさが改めて語られました。そうした活動を通じて、ロータリーは、人種や性別、思想や経済状況を超越して人々をつなぎ、世界中で「よいこと」を実現する組織であるという信念のもと、RI 会長のメッセージは「よいことのために手を取りあおう」という言葉を誇張され、明るい未来を実現させましようと言われました。

これを受けて、第2730地区の西本幸則ガバナーエレクトは、「**居心地の良いクラブとは**」という地区メッセージを掲げ、退会防止と会員増強、そして楽しいクラブづくりを目指す方針を示されました。

ここで、My Rotary に掲載されていたカマルゴ氏のスピーチ動画の一部をご覧ください。

（※動画再生）

動画にもありましたように、コロナ後の世界ではロータリーも例外ではなく、会員減少が課題となっています。ただ、ロータリーは毎年リーダーが交代する中でも、リーダー同士の連携によって継

続的なポリオ活動などに取り組み続けており、その重要性がより一層感じられます。

このような背景を踏まえて、**2025-2026年度**の鹿屋西ロータリークラブでは「**会員増強**」を最優先課題とし、鹿屋西ロータリーが掲げる基本方針を「**よいことのために広げよう 楽しもうロータリーを**」とさせていただきます。

この基本方針に込める私の想いを語ります。

1つ目は「奉仕の心を広げよう」

ロータリーの原点は、「奉仕の理念」です。職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕といったさまざまな形で、私たちは地域や世界に貢献してきています。その想いを私たちの中だけにとどめず、周囲に広げていくことが大切です。小さな地域活動でも、SNSで発信したり、家族や友人に話したりすることで、ロータリーの魅力は自然と広がっていきます。人の善意は連鎖します。その連鎖が、平和で持続可能な社会の一步につながると信じています。

2つ目は「仲間を広げよう」

ロータリー活動を続けていくには、仲間の存在が欠かせません。今年度、最も力を入れたい部分です。単に人数を増やすということではなく、ロータリーの価値観に共感し、活動を一緒に楽しんでもくれる仲間を迎え入れたいのです。「この人なら一緒にロータリーを楽しめそうだな」と思える方に、ぜひ声をかけてみてください。そして、ご自身の言葉でロータリーの魅力を伝えてください。熱意があれば、きっと伝わります。

ちなみに当クラブでは、一時は60名を超えていた会員が、昨年度の期首は44名、そして現在は42名になっています。鶴丸年度に立てられた3年計画では、2025-2026年度の目標が46名となっておりますので、**目標を4名の純増**と設定したいと思えます。

3つ目は「楽しもう、ロータリーを」

何より大事にしたいのは、**「楽しむこと」**です。

奉仕活動というと「大変なこと」「義務」と捉えられるかもしれませんが、私たちはそれを楽しみながらやることのできる仲間の集まりです。仲間と協力して目標を達成する喜び、自分の行動が誰かの笑顔につながる充実感。それが、ロータリーの魅力です。ロータリー活動は義務ではなく、誇りと楽しみです。笑顔が集まる場所には、人も集まります。そういうクラブは、自然と発展していくと信じています。

終わりに基本方針の「**よいことのために広げよう 楽しもうロータリーを**」の通り、奉仕の輪を広げ、仲間を増やし、笑顔あふれる活動を進めていきたいと考えています。

奉仕も仲間づくりも、楽しみながら行ってこそ、ロータリーはもっと輝きます。皆さんのお力添えをいただきながら、**充実したロータリーライフを一緒に築いてまいりましょう。**

最後に2つお知らせとお願いがあります。

1つ目は、**今年11月8日に相模原南ロータリークラブの50周年記念式典**が開催されます。

3年前に訪問された方は素晴らしいおもてなしを受けたと伺っております。当クラブも2年後に50周年を迎えるため、訪問された皆さんには全員準備をお願いします。

2つ目は、**来年6月13日～17日に台北で開催されるロータリー国際大会**についてです。この大会も、50周年に向けた動員が見込まれますので、ぜひ今のうちから予定に入れておいてください。以上で、次年度会長としての挨拶とお願いを終わります。ご清聴ありがとうございました。



◆スマイル報告

〈9件〉

- メモリアルデー有り難う御座居ました。早いもので48年目を迎えます。皆様に感謝!! 風呂井
- 誕生日祝ありがとうございます。かぞえ年で喜寿の年となりました。中学校の同級生の15%ぐらい他界しております。父の年にあと23年かかります。 野田
- 誕生日祝い、皆勤祝い、ありがとうございます。 中間
- メモリアルデーの御祝ありがとうございます。 志村
- 14年と聞いて私が驚きました。ありがとうございました。 上谷田
- メモリアルデーの記念品ありがとうございます。早いもので結婚42年が過ぎました。花好きの妻が喜びます。 中原
- メモリアルデーすっかり忘れておりました。教えていただいていたありがとうございます。 山下
- 心温まるプレゼントをいただき誠にありがとうございます。大切に飾らせていただきます。 椎本
- 誕生日祝いありがとうございました。昨日で私自身55才に。47才の誕生日に開業した会社も満8才になりました。これから一年元気いっぱい頑張ります。 一村
- 本日のニコニコBOXスマイルは2,383円です。
本日計 29,000円 累計(一般) 249,000円
(財団) 190,208円 (米山) 184,976円

***** ありがとうございました *****

週報担当：前田(数)